

演習 I

担当者 鎌苅 宏司

開講時期 通年 単 位 4

●講義の概要

修士論文の書き方に先立ち経済学の考え方をお話します。研究テーマが決まっていれば、論文作成のための指導が中心になります。研究テーマが決まっていなければ、できるだけ早く決めることができるようアドバイスをを行います。

●講義の到達目標

受講生が設定した研究テーマに関する先行研究の理解と、そこでの研究テーマの位置付けができることを到達目標とします。

●講義計画

第1回 前期研究計画と研究テーマ設定に向けて
第2回～第5回 経済学の考え方と論文の書き方について
第6回～第15回 受講生の関心の深い研究テーマの文献研究とディスカッション
第16回 後期研究計画の確認
第17回～第30回 受講生の関心の深い研究テーマの事例研究とディスカッション

●成績評価基準と方法

基本的な経済学の考え方を理解できているかを、提出されたレポートと先行研究の報告内容で評価します。

●テキスト又は参考文献

受講生の必要に応じて、manabaに講義資料を載せます。

●受講上の留意点

研究は時間との戦いです。たとえ修士課程の1年生でも秋の学会で研究報告をすることができます。できるひとは、どんどん先に進んでください。但し、教育資源には限りがあります。あらかじめ研究テーマが決まっているひとは、次の3条件のうち、少なくとも2つが満たされていないと、2年間で良い修士論文は書けないと思っておいてください。それは、(1) 演習科目の担当者が習熟している研究テーマであること、(2) 受講生が先行研究を渉猟しやすい研究テーマであること、(3) 実証研究のために必要なデータが入手可能であることです。それでも挑戦したいときは、できるだけ「工夫」をしてください。

個人的には、ジェイン・ジェイコブス（1916-2006）の著書を読み、その理論化を考えてみたいのですが、皆さんはいかがですか。